

令和3年度第1回土佐清水市総合教育会議 会議概要

■開催日時 令和3年8月24日（火）13:30～14:30

■開催場所 市役所2階 市長応接室

■出席者

【構成員】土佐清水市長		泥谷 光信
土佐清水市教育委員会	教育長	岡崎 哲也
	委員	山下 佳一（教育長職務代理者）
	委員	酒井 万里子
	委員	矢野川 正道
	委員	増田 百恵
土佐清水市副市長		磯脇 堂三（オブザーバー）

【市長部局事務局】企画財政課長	横山 英幸（司会進行）
企画財政課長補佐	竹池 亮

【教育委員会事務局】こども未来課長	中津 恵子
こども未来課長補佐	池 正澄
こども未来課指導主事	永野 美華子

■会議次第

1 泥谷市長あいさつ

2 議事

①土佐清水市教育振興基本計画について

②土佐清水市教育大綱について

③学校及び保育所等の訪問を終えて

*学校及び保育所の現状と今後のあり方について

④その他

■議事概要

①土佐清水市教育振興基本計画について

〔中津こども未来課長説明〕

土佐清水市教育振興基本計画Ⅲ（令和3年度～令和6年度）について説明

○2頁：基本理念「ふるさとを愛し、ジョン万スピリットを持って

日本や高知の未来を切り拓く人づくり」

○7頁：取組の方向性・施策の基本方針

○2～6頁：本市教育の現状（知・徳・体）各分野

〔永野指導主事補足説明〕

○本市の現状に基づいた基本方針及び横断的取組を設定

○具体的な対策・取組内容・到達目標（数値化）

〔泥谷市長〕

本市の教育振興を図るうえで最大の課題は少子化であるが、それを踏まえて作成された基本計画となっている。

当然のことながら、少子化に対する施策は別途講じる必要はあるが。

〔岡崎教育長〕

地域との連携・協働を進めていくことにより、子どもたちが地域で安心安全に暮らせることから、地域に帰ってこられる、地域を大事にする子どもが育ってくる。

地域の方々に関わってもらえるような地域学習を行い、地域で子育てできる体制づくりを進めたい。

〔泥谷市長〕

先日のこども未来議会でも、中高生の質問に対して「ふるさとを愛する気持ちというのが、将来的に人口増や活性化につながるのではないか」と答弁したのだが。

ぜひ、ジョン万スピリッツの醸成に向けた取組をお願いしたい。

〔岡崎教育長〕

校長会でも、土佐清水市に貢献できる子どもを育てたい、それを意識して各学校で取組を進める必要があるとのことだった。

②土佐清水市教育大綱について

〔横山企画財政課長〕

教育大綱の位置づけについて説明

〔泥谷市長〕

教育振興基本計画Ⅰ及びⅡについては、これまでも教育委員会部局と連携して取組を進めてきたが、このたび策定されたⅢについても、本市の現状を踏まえ将来を見据えたすばらしい計画となっているので、新たな大綱を策定するのではなく、本計画を土佐清水市の教育大綱としたい。

〔横山企画財政課長〕

市長の考え（教育振興基本計画Ⅲを土佐清水市教育大綱とする）にご意見等はないか？

【特になし】

〔横山企画財政課長〕

特にご意見等もないので、土佐清水市教育振興基本計画Ⅲを本市の土佐清水市教育大綱とする。

③学校及び保育所等の訪問を終えて

〔中津こども未来課長説明〕

学校・保育所等を年に1回訪問している。今年は7月5日、9日、15日に小中学校7校、保育所5園、幼稚園1園の合計13か所を訪問。

各学校等から事前に提出された課題や教育計画等に基づき訪問を実施し、授業や保育の参観、学校長や教職員との意見交換を行い、その後、教育委員による定例教育委員会で協議を実施している。

〔山下 佳一教育委員〕

保育所について、園長が兼務（下ノ加江と足摺岬、三崎と下川口）となっている状況から現場の声を聞くと、なんとか現場が回っている状況のこと。保育士不足について頭を悩ましており、特に小さい子どもへの対応に苦慮している。

急激な少子化により園の存続が心配。

小学校については、清水小のようなある程度規模が大きい学校とそれ以外の複式授業を実施している小規模校に分かれているが、小規模校での授業は、先生方の工夫もあり学力面での心配はあまりなかった。しかし、児童減少により複式授業すら困難な状況になりつつあるので支援の先生や外部講師が重要となっている。

中学校については、生徒も落ち着いており問題ないのではないかと。

その他として、タブレットが導入されているが、市外の先進的な取組ばかりを見てきたので、どんな使われ方をされているのかイメージ先行で見たところが、イメージとは乖離していたので、まずは教職員が操作等に慣れてもらい、もっともっと活用して子どもたちと一緒に作っていくような授業展開をお願いしたい。

〔酒井 万里子教育委員〕

コロナ禍にあって生活習慣などの変化が求められている中であって、子どもたちが頑張っている姿を見ることができた。教室内も整理整頓されている学級では、いろいろな面で行き届いている指導に子どもたちの学習意欲や姿勢につながっているのではないかと思った。

保育園については、保育目標や目指す子ども像を知ることができ、それに向かって保育実践をしている保育士の姿が印象に残った。何より園児が伸び伸びと園生活を送っている姿が安心安全な場所であることを示しているのではないかと。

タブレットの活用については、積極的に取組をしている様子が見受けられた。ただ、ネット環境の問題や専門的な指導が受けられない状況など、これから出てくるであろうさまざまな問題に対応できる支援が不可欠であると思う。

少子化については、保育園及び小学校が厳しい状況にある中、いろいろな選択肢をもって方向性などを考えていかなければならないと思う。

〔矢野川 正道教育委員〕

下ノ加江小、幡陽小、下川口小の児童数が来年、再来年あたりから厳しくなる。平成26年に学校統合案が出され、それについていろいろ話がされて答申が出されていると思うが、今から来年、再来年に向けて少人数の学校、学級について協議をしていく必要がある。

不登校について、清水中学校では20人の不登校生徒がおり、小学校から継続しているとのことなので、小学校からの取組が必要であると感じている。

タブレット導入については、当初は大丈夫かなと思った。これから出てくる問題等を学校任せにするのではなく、教育委員会の支援が必要と考える。

〔増田 百恵教育委員〕

今回教育委員に就任して初めて複式授業を視察したが、子どもたちのことを考えて学習リーダーを作ってしっかり取組されているのが印象的だった。少人数学校のどの先生からも聞いたのは、大勢の中に入ると自分の意見が言えなくなるということなので、学習意欲を付けて学習していくことで改善されるのではないかと思う。

不登校生が多いのが気にかかっており、兄弟姉妹に不登校生がいれば少なからず影響し、兄弟姉妹で不登校生になる可能性が高いので家庭への支援が必要と感じている。

〔岡崎教育長〕

中学校3年生に不登校が多く、家庭環境に主な原因があるため家庭支援をしないと学校復帰につながらない。3年生だけで13人いる。

原因としては、さまざまな理由による育児放棄がある。

教育センターによる支援（適応指導教室やスクールカウンセラー等）を行っているが、就学前から子育て支援の取組をしないと中学校でそのような形で現れてくる。

教育センターの職員が手一杯で対応できていない部分がある。

〔磯脇副市長〕

不登校にある３年生の卒業後の進路は？

〔岡崎教育長〕

定時制高校が対応してくれている。

〔泥谷市長〕

少子化については、最重要課題として働く場の確保や出会いの場づくり、子育て教育環境の充実としてさまざまな取組を展開しているが、歯止めがかからない。

教育委員からもご指摘があったように、保育所や学校のあり方を抜本的に改革するような検討会等を立ち上げて集中的に議論していただきたい。運営方法や統廃合なども含めて来年度には答申をいただきたいと考えている。

保育園については、園長の兼任が問題となっていることから、再任用制度による園長の継続登用を検討し、保育士不足の解消に努めたい。

個人的には、旧町単位で保育園及び小学校は残したいという強い思いはあるが、聖域を設けず議論をする時期に来ていると考えている。

〔岡崎教育長〕

地域活性化を進めながら旧町単位で残し、地域の子育てを地域の人たちに関わってもらえるような地域にして、地元に残る、地元へ帰ってくるような教育を進める必要がある。地元の大学に進学すれば地元へ帰ってくるというデータもあるので、清水高校から地元の国公立大学に進学し、帰ってきてもらいたいと思う。

〔泥谷市長〕

そのための奨学資金制度も設けているのだが。

〔岡崎教育長〕

教育振興計画Ⅲにある地域との連携・協働に関わる内容を進めながら地域の活性化にもつながるような取組を行いたい。

〔横山企画財政課長〕

教育委員が学校訪問をした際にタブレットを使用していたようだが、授業ではすでに使用しているのか？

〔中津こども未来課長〕

本格的な実施はこれからとなる。

〔岡崎教育長〕

タブレットに慣れてもらうためにも、できるだけ自由に使うよう学校には指示している。

ギガスクールを進めたら地域間による教育格差が小さくなるので上手く活用したい。

〔磯脇副市長〕

教職員のワクチン接種はどこまで進んでいるのか？

〔岡崎教育長〕

ほぼ打ち終えている。

〔磯脇副市長〕

12歳～19歳の接種率が低いが、高知市がまん延防止等重点措置対象地域になったことから、最近は駆け込みによる接種が増えている。夏休み明けの感染について懸念している。

〔泥谷市長〕

市民の取組の成果として、市内でまだ感染者が確認されていない。

〔岡崎教育長〕

学校行事も始まるので、学校での感染対策に万全を期すよう指示をしている。一方で、ワクチン接種をしない家庭もあるので悩ましいところもある。

〔泥谷市長〕

確認として、保育園及び学校のあり方に係る検討会等のメンバーは？

〔岡崎教育長〕

外部の委員も入れて検討を行うこととしている。

〔横山企画財政課長〕

その他なければこれにて閉会する。